

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 英米文学専攻 博士後期課程 】
試験科目 【 専門試験 英文解釈 I・II および英作文 】

【出題意図】

英米文学・英語学分野の専門的英語文献を正確に読解する能力、ならびに論文執筆のための英語運用能力（和文英訳を含む）を総合的に評価することを意図している。

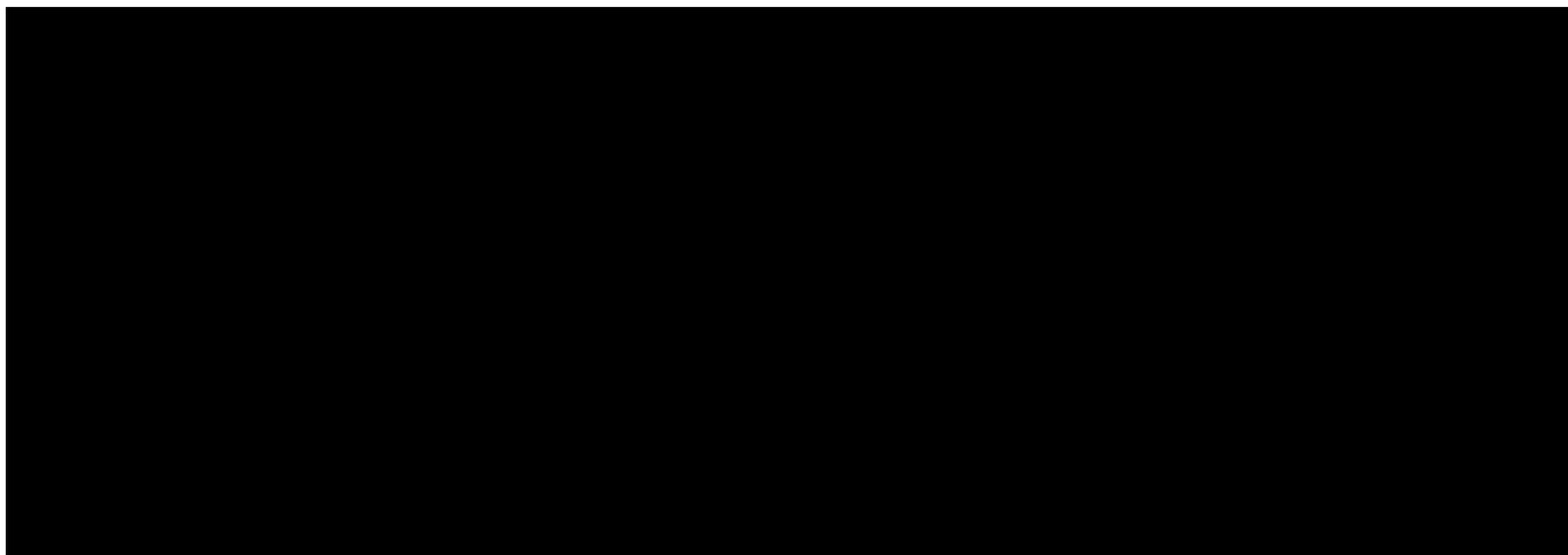
次の英文を和訳しなさい。

(Aristotle. *The Poetics*. Translated by S. H. Butcher, Macmillan, 1895, pp.21-23)

解答例：

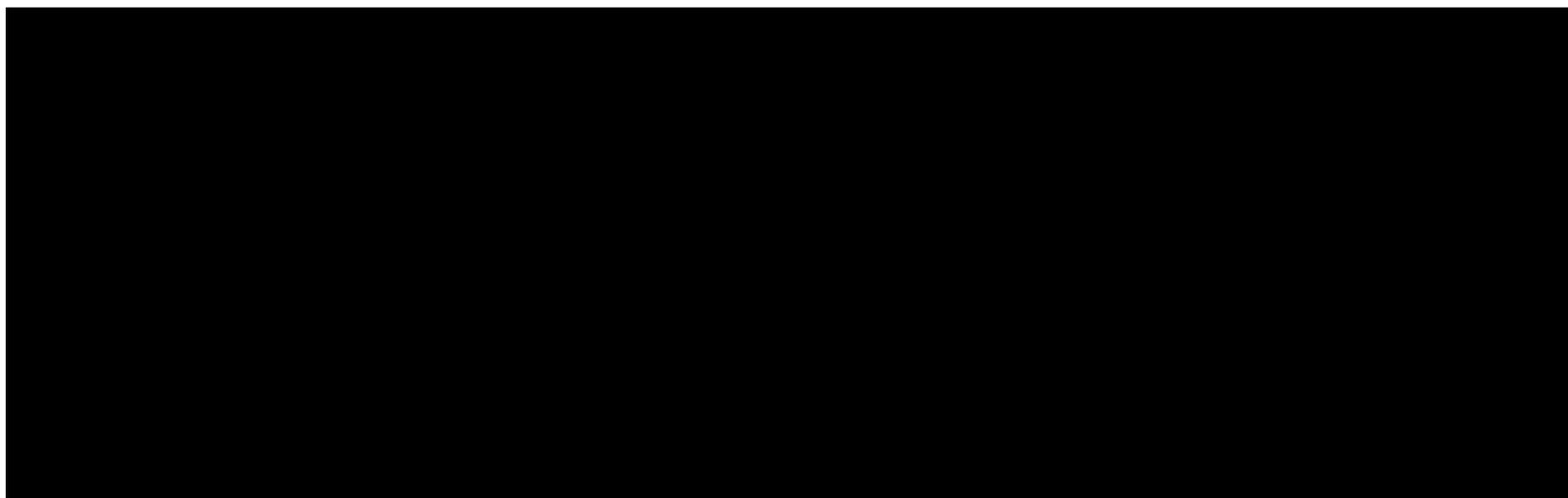
2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

次の英文を和訳しなさい

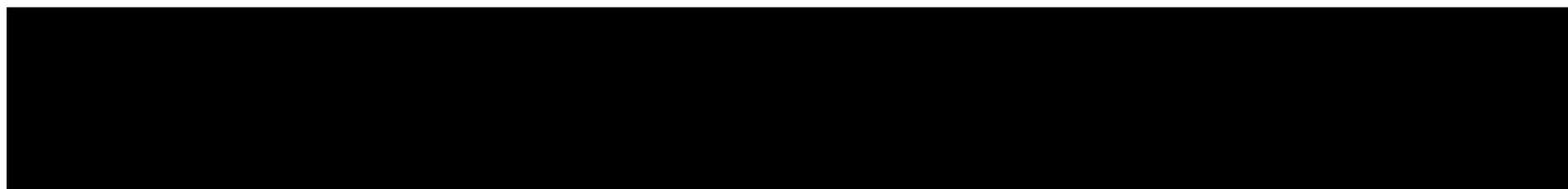


(Katherine Mansfield, "The Daughters of the Late Colonel" (1920))

【解答例】

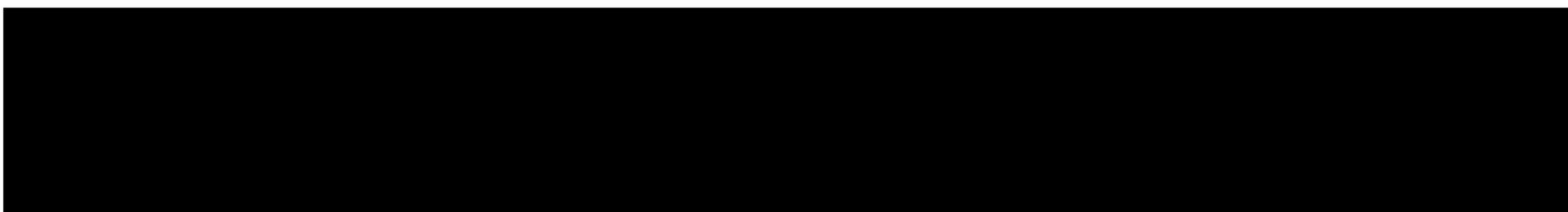


次の和文を英訳しなさい。



(ロバート・ルイス・ステューヴンソン & ロイド・オズボーン著/駒月雅子訳(2017)『引き潮』国書刊行会 191頁)

「解答例」



2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【人文科学研究科 英米文学専攻 博士後期課程】
試験科目 【 専門試験 英文学 】

【出題意図】

イギリス文学における主要作家およびその代表的作品、ならびに各時代の文学運動と歴史的・文化的背景に関する基礎的かつ体系的な知識を有しているかを評価することを意図している。

【設問】以下の五つの設問からテーマを二つ選び、それと関連するイギリスの作家とその作品を取り上げて日本語か英語で簡潔に論じること。なお作家名と作品タイトルは英語で記すこと。

(1) 風習喜劇

(2) 教養小説

(3) ピカレスク小説

(4) 形而上詩人

(5) ポストコロニアリズム

【評価のポイント】

各設問に関連する代表的作家名および作品名を原文で正確に記していることを前提とし、その時代背景および文学的特徴について、歴史的事実との齟齬をきたすことなく理解していること、さらに専門用語を適切に使用し、具体的な事例を挙げながら論理的かつ一貫した記述がなされていることを評価する。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 英米文学専攻 博士後期課程 】
試験科目 【 専門試験 米文学 】

【出題意図】

アメリカ文学における主要作家およびその代表的作品、ならびに各時代の文学運動と歴史的・文化的背景に関する基礎的かつ体系的な知識を有しているかを評価することを意図している。

以下の項目から2項目を選択し、具体的な作家名並びに作品名を取り挙げ（複数可）、アメリカ文学を日本語または英語で論じなさい。2項目をそれぞれ個別に論じても、相互に関連づけて論じてもよい（字数制限なし）。ただし、作家名ならびに作品名は英語表記にするのが望ましい。

- 1) プランテーション小説
- 2) 枠物語
- 3) 探偵小説
- 4) 奴隷体験記
- 5) 南部ルネッサンス

【評価のポイント】

各項目に関連する代表的作家名および作品名を原文で正確に記していることを前提とし、その時代背景および文学的特徴について、歴史的事実との齟齬をきたすことなく理解していること、さらに専門用語を適切に使用し、具体的な事例を挙げながら論理的かつ一貫した記述がなされていることを評価する。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 英米文学専攻 博士後期課程 】
試験科目 【 専門試験 英語学 】

【出題意図】

英語学に関する基礎的かつ体系的な知識を有しているかを評価することを意図している。

下記の設問から2問選択し、具体例をあげて論述しなさい。解答は日本語か英語ですること。

- (1) 大母音推移 (Great Vowel Shift)
- (2) 法 (mood)
- (3) 二重語 (doublet)
- (4) ピジン(pidgin)とクレオール(creole)
- (5) イギリス英語とアメリカ英語の、発音・つづり・語彙・文法の違い
- (6) 社会的要因による英語の変種(variety)

【評価のポイント】

各設問に関連する基礎的かつ体系的な知識を有していること、さらに専門用語を適切に使用し、具体的な事例を挙げながら論理的かつ一貫した記述がなされていることを評価する。

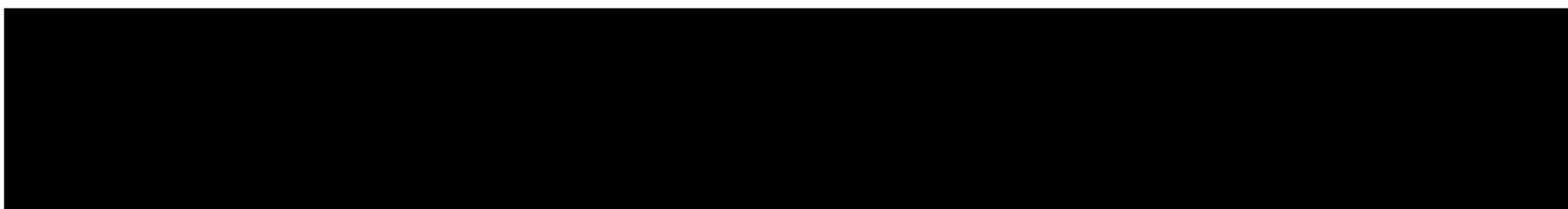
2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 英米文学専攻 博士後期課程 】
試験科目 【 外国語選択試験 独語 】

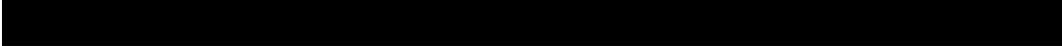
【出題意図】

ドイツ語の正確な読解力と、文脈に即した日本語表現力を問う

1、以下の文章 (Der "Ohmi-no-niwa") を読んで、問いに答えよ。

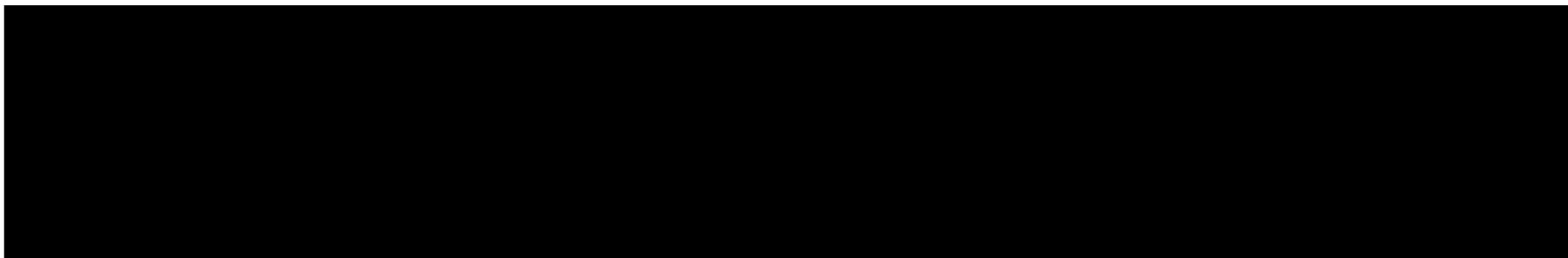


[出典： <https://www.wuerzburg.de/> 2025.12.02 取得]

- 1) 文中1行目にある"der Japanische Garten"は何格か答えよ。[1 格]
- 2) 文中に"der beiden Städte"とあるのは具体的に何のことか、日本語で答えよ。[ヴュルツブルク市 と 大津市]
- 3) 下線部を和訳しなさい。[訳： ]

※出題意図：上の問題はすべて、ノンフィクションないし説明文のドイツ語を読みとる力を測るためのものである。

2、以下の文章を読んで、問いに答えよ。



[出典： <https://www.projekt-gutenberg.org/grimm/maerchen/chap136.html> 2025.12.02 取得]

- 1) 文中の"Es suchte Ausreden"について、Es とは何のことか日本語で答えよ。[娘]
- 2) 文中最後の行では接続法が使われているが、その理由を日本語で述べよ。[理由： 間接話法をあらわすため]
- 3) 下線部を和訳しなさい。[訳： ]

※出題意図：一方、こちらはすべて、古典作品（文芸）としてのドイツ語を読みとる力を測る問題である。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題

研究科・専攻

【 人文科学研究科 英米文学専攻 博士後期課程 】

試験科目

【外国語選択試験 仏語 】

【出題意図】

仏文の正確な読解力を問う。

問題 以下を読み、全文を和訳しなさい。

出典：Zola, *Thérèse Raquin*, Gallimard, coll. « Folio », 1979, p. 35.

【解答例】

【出題意図】中レベルの仏文の正確な読解力を問うた（直説法単純過去と接続法半過去が使用されていない問題文を用意した）。